

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第300号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2011年6月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・黒坂道生

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP*NEWS

校外活動(高校1年・3年) スポーツ大会(高校2年)



たくさん焼いて、たくさん思い出ができました(高3 バーベキュー)



アリーナでしたが、白熱した試合が行われました(高2 スポーツ大会)



キャンパスが広くて迷いそうでした(高1 東海大学湘南キャンパス見学)

部・同好会の試合等の結果は、毎週本校ホームページで更新されています。

2011年度学校運営方針

『飛躍』5月号でもお知らせしたように、2011年度は「重点目標」を2つ増やして5つ設定いたしました。今回は「2011年度の重点目標」の内(1)～(3)までをご紹介しますと思います。この3つは昨年度からの継続重点目標です。

2011年度の重点目標 PART.1

1 学習と部活動の両立ができる生徒を育てる

教務部、進路指導部と生徒指導部が協力しながら、学習と部活動の両立を図ります。

部・同好会活動入部率 中等部1年生100% (中等部全体では97%)

高校第1学年88% (高校全体では84%)

昨年度部・同好会活動は、弓道部のインターハイ出場、中等部陸上競技部の全日本中学校陸上競技選手権大会出場、吹奏楽部の全国大会金賞受賞をはじめたくさんの成果を挙げました。今年度も引き続き各部活動が新しい歴史を生み出してくれることと期待しています。

勝つことだけが、すべてではありません。どんな部活動の試合でも、そこには指導熱心な顧問と自分の実力以上の力を出し切って満足している生徒諸君、そして、そんな顧問と生徒を温かく応援していただいている保護者、卒業生の皆さんの姿があります。勝っても負けても必ずたくさん大切なことを学んでいます。

また、部活動を頑張っている生徒たちが、学習面でも良い成績を修めるといのが本校の伝統になっています。付属高校・中等部の特徴を活かし、学習と部活動の両立を目標に最後まで全力で頑張りたいと思います。

2 いつでも、どこでも挨拶のできる生徒を育てる

学校を訪れた方々がまず驚くのは、本校の生徒諸君のすばらしい挨拶です。在校生の皆さんの多くも、入学前に本校を見学した時にすばらしい挨拶をしてくれた先輩方にあこがれて本校に決めてくれた人が多いと思います。このすばらしい伝統を後輩たちにも引き継いで欲しいと思います。挨拶がきちんとできることは人間関係を良好なものにする基本なのであります。

3 教員は生徒に必要な学習内容を、授業時間内での工夫によって、十分理解させると共に、学習習慣を身に付けさせる

部活動で忙しい生徒たちが学習と部活動を両立させるためにはわかりやすい授業を展開することが必要不可欠です。そのため私たち教員は全力で授業改革に取り組みます。アクティブボードの積極的活用、公開授業・研究授業を全教科で実施、ベストティーチャー制による優れた授業の共有化などを通して、学校全体で工夫された授業を行います。また、限られた時間を有効活用して家庭学習を行えるような学習習慣を身に付けさせる努力・工夫を重ねていきます。

PART.2は来月号に掲載します。

第7回 ベストティーチャー表彰(2010年度)

中等部タイプA 高橋佑未子先生(英語科)

高校タイプA 数馬大介先生(国語科)

山口恵美子先生(芸術科・音楽)

中高タイプB 東出葉月先生(国語科)

2010年度のベストティーチャー4名の教員が、第39回後援会総会の場で網中勝会長から表彰、賞金を授与されました。

ベストティーチャー制度は教員のスキルアップを目指し、後援会のご協力により2004年度に発足した制度です。前期2回の生徒による授業評価アンケートのアベレージ上位中等部3名、高校6名の教員の授業を、全教員・保護者に見学していただき、総合評価の最も高かった中等部1名、高校2名がタイプAに、中・高で後期中間までの3回の伸び率が最も高かった教員がタイプBとなります。今年度は中等部タイプAに高橋佑未子先生、高校タイプAに数馬大介先生と山口恵美子先生が選ばれました。山口先生は今回が2度目の受賞となります。なお一度、ベストティーチャーに選ばされると3年間は選考の対象からはずれず。



左から、高橋先生、数馬先生、山口先生、東出先生

中等部1学年だより

中等部生活が始まって、早いもので2カ月が経過しました。もう中等部生活には慣れましたよね。そして、初めての中間試験も経験しました。試験については…、その話はやめましょう。

これからも、勉強に部活動に元気に励んで、中等部生活を充実したものにしてください。

今回は、学年所属の竹内耕治先生と鶴岡薫先生からメッセージをいただきました。



寄り添うこと

竹内 耕治

中等部1学年所属

先日、3月11日の東日本大震災関係のニュース番組の中で、国立歴史民俗博物館名誉教授の山折哲雄氏が、NHKのアナウンサーの「悲しんでいる人、苦しんでいる人に何と言葉をかけたらいいのですか」との問いに答え、「苦しみ、悲しみの極みにある人には、励まし、慰めの言葉はなかなかその人の心に届かないことがある。そのような時は、ただ黙って寄り添うことがよい」と仰っていました。言葉は、万能ではないということでしょう。皆さんの周囲の人が、悲しみ、悩みの中にあるとき、話を聞き、短いアドバイス、励めの言葉、励ましの言葉をかけ、あとはただ黙って寄り添う、それが一番良いのかもしれない。

一生懸命に、励めてやろう、励ましてやろう、アドバイスしてやろうと気負い込んで話しても、当の本人の心に届かなくては何もならないし、黙っていてくれ、一人にしてくれと苦痛に思われても何もなりません。心は言葉だけでは相手の心に届かないものです。



中学1年生

鶴岡 薫

中等部1学年所属

自分が中学生になった時のことを思い出してみる。私服から制服へ、ランドセルから肩掛けカバンへ、中学3年生がものすごく大人に見えたあの頃。勉強も小学校の頃と変わった。算数が数学へ、図画工作が美術へ、名称だけでなく内容だってどんどん難しくなっていくし、英語など新しく学ぶ教科だってある。

日々楽しそうに、わいわい・きゃっきゃと過ごしている彼らですが、期待と不安が入り混じった緊張の2か月を爆走するかのように過ごしたことで、未曾有の大震災もありましたし、尚更です。友人関係や部活動、本業である学業と全てに全力で頑張りたいのは山々ですが、頑張るすぎは禁物です。継続は力なり。天気のごずつく6月は、自分の心がぐずついてしまう前に少し緊張の糸を緩めてあげましょう。また、頑張った時は自分を褒めてあげることも忘れずに。



A組 道徳の授業



B組 道徳の授業



金曜日の食堂利用



痴漢防止講習会



健康診断



A組教室より

中等部 2 学年 だより

☆ こんなクラスにしたい ☆

2年生になり、新しいクラスにもだんだん慣れてきました。そして級長副級長を中心にクラス目標を決めました。今回は各クラスの級長にどんなクラスにしたいかを聞きました。

A組

**ノリがよく団結力のある元気なクラス
心も教室もきれいなクラス
号令(授業の挨拶)をしっかりできるクラス**

野田 修平

2年A組級長 江東区立第一大島小学校出身

今年中等部に入って初めてクラス替えをしました。今まで同じクラスだった友達が別のクラスになったり、あまり話したことのない子が同じクラスになったりしたので、まずはクラス全員が仲の良いクラスにしたいです。そして団結力があって体育祭や合唱祭などでその実力を発揮させたいです。

また心も教室もきれいにするということが目標として頑張りたいです。これはクラス目標でもあって、「心をきれいに」というのは、人の悪口などを言わずに優しくしようということ。そして、教室もいつもゴミなどが落ちていないようにきれいにしようという思いが込められています。人には親切に、そして教室もきれいにできるようなクラスにしたいです。

このクラスのこのメンバーで1年間一緒に過ごすので、いろいろな決まり事をしっかり守るクラスにして、体育祭や建学祭などの行事を全力で取り組んでいけるようにしたいです。そして自分もクラスの一人として一生懸命努力して、これから過ごしていきたいです。

B組

**授業と休み時間のけじめをつける
何事にもチャレンジする
健康に育つ(体調管理をしっかりする)**

澤崎 浩太郎

2年B組級長 台東区立黒門小学校出身

2年生になり、早1か月。4月初、緊張と不安が入り混じていた毎日でも少しずつですが、僕たちB組45人は楽しく充実した日々を送れているように思えます。この先も、なるべく休まないで登校し、楽しい毎日を過ごしたいと思っています。それには健康管理が大切だと思います。これはクラス目標にもなっています。そのほかに授業初めのチャイムが鳴り終わったのに、ロッカーへ教科書を取りに行き、先生に注意されてしまうことがあります。チャイム着席を守り、授業と休み時間とのけじめをつけられるようになるといいと思います。そして、係りを決める話し合いなどで自分の意思で立候補する、チャレンジする気持ちも必要だと思います。

けじめをつけて生活し、何事にもチャレンジ、そして健康管理をしっかりし、充実した日々を送る。誰もが楽しく過ごせ、皆健康で元気なクラス。これが、僕の思う理想のクラスです。



前列左から
野田修平(学年委員長 兼 2A級長)
澤崎浩太郎(2B級長)
後列左から
天野恵理子(2A副級長)・村越聖哉(2A副級長)
中崎陽史(2B副級長)・高島健太郎(2B副級長)

**一年間2学年をまとめてくれる6人です。
みんなも協力して素晴らしい学年にしていこう☆**

中等部3学年だより

部活動への取り組み

立場は人を変える

遠藤 亮

3年A組 陸上競技部部長
品川区立小中一貫校 伊藤学園出身

僕は、部長になるまでは「部活動なんて・・・」というような考えがありました。それは、自分の立場が分からなかったからだと思います。何か失敗をしても、先生方や先輩が何とかしてくれるとどこか他人に頼っていました。でも、その考えは違って、本当は陸上競技部としての自分の立場をちゃんと理解しておかなければいけないかと思いました。今は部長になったことで、自分の立場をはっきり認識することができました。これは、何も部長だけに限らず、学年は関係なく誰でも、自分たちがどのような立場に置かれていて、どう行動するかを考えることは大切です。

現在、僕は『後輩の面倒』や『道具の管理』など、多少仲間にも頼ることもあるけれど、部長としての責任の重さを感じて、日々、部活動のために学び、頑張っています。

残りの期間での部活動の目標

村山 恭平

3年B組 演劇部部長
品川区立後地小学校出身

僕の残りの期間での目標は、1つ1つの公演を大事にし、全力でやることです。中等部は大会がないので、公演を頑張っていきたいと思います。特に建学祭での発表では、この学校志望の人もたくさん来ると思うので、観に来た人が演劇部に入りたと思うように全力で取り組みたいと思います。その他の公演も終わった後に後悔しないように、全力で取り組んでいきたいです。そして、7月には公演があるので、しっかり練習をして本番にむけて頑張りたいと思います。3年生は3月まで引退はなく、秋と冬に公演があると思います。なので、みんなで協力して最高の劇に仕上げたいと思います。

部・同好会名	クラス	代表者	部活動の残り期間での目標
陸上	3A	遠藤 亮	全員が1秒でもタイムを縮め、1mmでも記録が伸ばせるよう、努力する!
男子バスケットボール	3A	浜村 裕貴	最後の大会で悔いが残らないように頑張る。
女子バスケットボール	3A	白井明日香	港区1位になって、都大会に行く! 勝つまで泣かないぞ!
ソフトテニス	3B	上野 汐風	都大会に行く!
卓球	3B	石田 勝理	都大会に出る。
サッカー	3A	笹原 滉平	地区大会で優勝する!
剣道	3A	豊田 裕生	団体戦で都大会に行く!
吹奏楽	3B	千葉 琴美	金賞を取って都代表になる。
演劇	3B	村山 恭平	1回1回の公演を大切に、全て全力でやりきる。
物理化学	3B	前原 純平	日本学生科学賞に入賞!!
美術	3B	小川 沙麗	建学祭に向けて作品を作る!
ESS	3B	岡島 萌佳	衰退しがちな活動を3年生を中心に、活発にしていきたいです。

部活動の様子



高校1学年だより

東海大学湘南キャンパス見学

高校1年生は校外活動として5月7日(土)東海大学湘南キャンパス見学に出かけました。大学のキャンパスに行くのが初めての生徒もいて、その大きさに感激していました。

東海大学を見学して感じたこと

酒井 里紗

1年1組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

実際に、東海大学湘南キャンパスを見て感じたことは、とにかく広いということでした。「クイズラリー」の際、問題を解くだけでなく、構内をまわることもかなりたいへんでした。この広いキャンパスには多くの施設がありました。どれも設備が充実していて、高輪台高校にはないものも目につきました。

また、東海大学には、とても多くの学部・学科があることを現地に行ってみて、あらためて実感しました。私が興味をもったのはデザイン学科です。案内してくれた大学生もデザイン

学科の魅力を教えてくれたので、今まで以上に興味を持ちました。これから、この学科について詳しく調べてみたいと思います。他にも、興味をもった学部・学科がありました。それらについても、勉強内容を資料を集めて確認するつもりです。

今回のキャンパス見学を参考にして、現在、学んでいることが将来どのように生かせるのかを考え、また、2年後の進路決定の材料にしたいと思います。機会があれば、他のキャンパスも見学できることを希望します。

東海大学キャンパスラボツアー

新井 海斗

1年9組 前橋市立第四中学校出身

僕は、理学部化学科と電気電子工学科を、見学させていただきました。まず、理学部化学科では、実験室と研究室を見学しました。ここでは、有機化学とタンパク質化学の研究、実験をしていました。大学生や大学院生の研究している内容は、とても高度でした。研究している人たちがとても楽しそうかつ真剣に実験をしていて、見学しているこちらも研究したくなる空気でした。また、電気電子工学科では「オール電

化」がいかにか地球に優しいか、とてもわかりやすく説明してくれました。そして何よりも一番楽しかったのは、電気自動車のブースです。運転はできませんでしたが、動かすことができ、みんな楽しんでいました。

今回は本当に充実した東海大学キャンパスラボツアーでした。



答えを書き込み中



高1 大学の研究室はすごい!(ラボツアー)



真剣な眼差しで聴講中



大きいホールでの大学説明



大学生スタッフとの交流

高校2学年だより

スポーツ大会(in アリーナ)

5月7日(土)に第2学年スポーツ大会が行われました。あいにくの雨ということで本校グラウンドではなくアリーナに場所を変更して熱戦が繰り広げられました。競技や応援を通して、クラスがまとまった1日となりました。

総合優勝 7組 準優勝 4組 3位 8組

団結力!!

渡邊 上総

2年7組 大田区立大森第六中学校出身

今回のスポーツ大会は、クラス替え後すぐということもあり、スポーツを通じてクラスの親睦を深めることができました。競技中はアリーナの至るところで声援が飛び交い、勝利を喜んだり励ましたりするクラスの姿が多く見られました。私は今回のスポーツ大会をクラス団結の場だと考えていたので、ただの行事で終わらせてはいけないと思っていました。新しいクラスの仲間と打ち解け、協力すれば早く仲良くなるだろうと思い、全力でプレーしようと思っていました。実際競技をしていると、私たちのために一生懸命応援してくれる姿があり、それに応えるチームがありました。その時クラスが一つになった気がしました。

どの社会においても、集団が一致団結するということは容易なことではありません。それを可能にしたスポーツ大会は素晴らしいと思います。

この先まだまだ多くの行事が残っています。ここで得た団結力や絆を他でも発揮しながらクラスの団結力を深めていきたいです。

全員で勝ち取った準優勝

小林 直紀

2年4組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

2年生になり、クラス替えがありました。新しいクラスにも程よく慣れたときにスポーツ大会がありました。バレーボールやバスケットボール等を行い、みんなで力を合わせて上位を目指しました。私はドッジボールに参加しました。相手チームの野球部員の投げるボールにはかなり苦戦しましたが、チーム全員で協力し優勝することができました。1回戦で敗退してしまった種目もありましたが、みんなで勝った喜びや負けてしまった悔しさを分かち合い、もっと仲良くなれたと思います。順位発表のとき総合2位と言われ、びっくりしました。雨でアリーナでのスポーツ大会になってしまいましたが、クラス全員で準優勝できてよかったです。後期のスポーツ大会では4組の総合優勝を狙いたいと思います。まだまだ始まったばかりの2年生ですが、1日1日を大切に過ごしていきたいと思います。



高校3学年だより

☆ バーベキュー ☆

当日は雨予報で天候が危ぶまれる中、3年生はバーベキュー(山梨県南都留郡富士河口湖町西湖:1組~5組は湖畔キャンプ場、6組~9組は紅葉台キャンプ場)に行ってきました。

私たちの「ごちそう」

金野 紗也

3年2組 川崎市立南加瀬中学校出身

3年生初めての行事は天候に恵まれませんでした、とても楽しい1日となりました。バーベキュー場では、皆で協力して準備に取り掛かりました。火おこしをしたり肉や野菜を切ったり、点いた火が消えないように薪を入れて見張りをしたりなど、普段見ることのできない友達の意外な“顔”を見ることができて、とてもよかったです。私が食べようと思って持参したつもりのハッシュド・ポテトは、リュックの中でいつの間にか冷凍焼きおにぎりに変わっていました(!?)が、自分たちで作った「ごちそう」はとても美味しかったです。今年は全てが“最後”の行事になるので、一つ一つの行事をもっと楽しんでいこうと思います。

校外活動を終えて

内田 紗耶

3年9組 横浜英和女学院中学校出身

早朝の出発で小雨の中、順調にルートを経て現地に着きました。普段の学校生活とは違う、緑豊かな自然の中で、のびのびと校外活動を楽しむことができました。小雨の影響などもあり、火おこしなど少し苦労しましたが、皆で工夫をして協力しながらバーベキューを楽しむことができました。あっという間に時間が過ぎた感じがしましたが、準備から片付けまでの共同作業で、クラスの団結力が生まれ、また、それぞれのメンバーの意外な一面も発見でき、とても有意義な時間を過ごすことができました。



SSH活動報告

1年SSHクラスが、4月30日(土)に「リベラルサイエンス」の数学で、東海大学代々木校舎を訪問しました。身近な数学や数学の実用性を実感する教具にふれてきました。「リベラルサイエンス」の講座は、SSHクラスだけではなく、普通クラスの生徒も参加できます。普段の授業では学べないことが、多く学べる機会です。普通クラスの皆さんもぜひ参加してください。

身近な数学

鈴木 詩乃

1年9組 葛飾区立水元中学校出身

今回のリベラルサイエンスで私たちは「身近な数学」について学びました。私は数学が好きです。中学生の頃から数学の本を読んでいました。でも、数学を身近だと感じたことはありませんでした。だから、リベラルサイエンスのテーマが「身近な数学」と言われても、あまりピンときませんでした。

私がみてきた数学はどれもこれも身近ではないと思ってきたからです。でも、実際にリベラルサイエンスを体験して、数学が身近である理由がわかりました。その中で私が一番興味深いと感じたのは「フィボナッチ数列」です。あまり聞きなれない言葉だとは思いますが、私はいつもフィボナッチ数列をみるたびにテンションが上がります。さらに、フィボナッチ数列から黄金比への転換も全身がゾクゾクしました。縁もゆかりもないと思っていた2つの思いがけない関係を見つけることができました。

私は「数学は時を超える」という言葉が好きです。数学者が見つけた法則を現代の自分たちが利用する。一見なんでもないことのように感じますが、今の自分たちが「小さな数学者」と考えると私は胸がワクワクしてなりません。

これからたくさんの数学と出会い、「魅惑の数学」に出会う人が増えることを願っています。



この立方体を開くとどうなるのかな?

数学に感動した日

菊池 弘

1年4組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

僕は、初めてリベラルサイエンスに参加しました。普通クラスから1人で行くのが怖くて不安でした。でも、SSHクラスの人たちが受け入れてくれて、違和感なく講義に参加することができました。教具を用いている色々な数学を学びました。特に印象に残っているのは、「ルーローのn角形」です。これにドリルの刃をつけると、三角形や四角形の穴が開くことを知って感動しました。また、ルーローの三角形は自動車のロータリーエンジンに使われているそうです。知らなかったことも多く、学校の数学の授業では学ばないことを教えていただきました。

いろいろと教えていただいた先生方に、とても感謝しています。今回学んだことを今後の学校生活に生かしていきたいです。そして、次回のリベラルサイエンスにもぜひ参加したいです。



マンホールのふたはなぜ丸いのか…

憲法記念講演 子どもの人権救済の現場から

憲法記念日を目前に控えた4月28日(木)に本校アリーナで、恒例行事である「憲法記念講演」を高校1年生を対象に行いました。ホームルーム活動の時間を延長して1・2時間目に、弁護士の坪井節子先生から、いじめ・虐待・少年犯罪に巻き込まれている子どもたちの実情と、「カリヨン子どもセンター」の活動についてビデオを交えてお話しいただきました。坪井先生ご自身が体験されてこられた生々しい現場の実例を交えたお話は、生徒にとってあらためて「子どもの人権」について考える機会となったようです。



講演を聞いて感じたこと

近藤 咲姫

1年2組 東海大学付属高輪台高等学校中等部出身

私は初めてこのような講演を聞きました。私たちの年代の子どもたちが苦しんでいる話を聞いて、今私が友達と楽しく遊んでいる、家族でご飯を一緒に食べたりしていることは、とても幸せなことなのだと感じました。

世の中でこんなにも家族中のトラブルや友達関係での問題が起こっているなんて、この講演を聞くまでは知りませんでした。こ

の講演では内容からそこからの対応などすべての流れを詳しく話していたので、とてもリアル感があり、聞いているだけでも少し怖くなってしまいました。現実に話していることがほんとに起こっているとは思いませんでした。

この講演を聞き、今の状態がどれだけ幸せかわかりました。なので今を大切にして、今の状態が崩れないように自分でも努力をしながら、これからは生きていきたいと思いました。人を傷つけないようにしていきたいです。

TOKAI キャンパスメッセージ

今回は政治学科主任教授の前田先生と、本校卒業生の田牧君とのコラボメッセージをお届けします。

地域から国際社会まで学べる「政治学科」

政治経済学部政治学科教授・政治学科主任 **前田 成東**

「政治学科」という名称に堅いイメージを持つ人も少なくないと思います。しかし、実際にはそんなことはありません。地域から国際社会まで、皆さんの関心に応じて社会のあり方を学べる学科です。試しに新聞を1面から読んでみてください。最初の数頁に書かれている記事は、圧倒的に政治に関連した事柄です。

政治学科には、「政治基礎コース」、「国際政治コース」、「地方行政コース」の3コースがあり、学生は3年生になると15人程度の少人数で構成される

ゼミナールを選択し、専門の勉強を深めます。また、「自治体インターンシップ」、「NPO・NGOインターンシップ」のように大学の外で社会人の方々とともに勉強できる体験型の授業があることも特徴です。将来の進路としては、他学科に比べて公務員志望が多いという特徴はありますが、金融、製造、運輸、情報通信、そして教員など様々な分野で活躍しています。

高輪台高校の卒業生は、政治学科で楽しく勉強しています。2010年に政

治学科を卒業し、さらに勉強を続けるため大学院に進学している学生(女子)がいます。また、この頁で紹介している田牧陽一君は国際政治に関心を持ち、2年生の秋におよそ半年間アメリカに留学しました。帰国した現在は「国際政治コース」でさらに勉強を進めています。

政治学科では、皆さんの関心あるテーマを必ず見つけることができます。大学で会えることを楽しみにしています。

政治学科で学んでーハワイ留学での経験

政治経済学部政治学科3年(高輪台高校2009年3月卒業) **田牧 陽一**

高輪台高校在学中にハワイでの留学(SHIP)に参加したことが、私の将来に対する考えを変えました。国際問題に関心を持ったため、「国際政治コース」のある政治学科を選択し、日露学生フォーラム、青年海外交流事業などにも積極的に参加しました。

そして、昨年8月からHawaii Tokai International Collegeに長期留学し、DDP(Double Degree Program)という東海大学に在学しながらアメリカの短期大学の学位を取得する意欲的なプロ

グラムに取り組みました。基礎的英語力があるという前提で授業が進められたため、初めのうちは、授業内容どころか、先生の指示すら聞き洩らすこともあり大変苦勞をしました。しかし、私を支えたのは国際政治の舞台で活躍したいという目標です。その夢を実現するために、ひたすら課題に挑みました。そして、現地では私のことを支えてくれる多くの人に出会いました。このような環境の下、わずかながらでも着実に成果を上げることができました。また、私と同じように将来の夢

のために祖国を離れて勉強する多くの学生とも出会いました。そのような学生と競い合い、時に夢を語り合うことが私の学習への大きな原動力となりました。さらに、長期休暇を利用してワシントンDCに行ったことは、私の視野を広げるよい経験となりました。帰国してからは、英語力の維持と第二外国語(ロシア語)の習得に向けて猛勉強の日々です。

政治学科には、興味深い研究テーマがたくさんあります。是非、将来の夢に向かっての第一歩を踏み出してください。



Washington DCにて



各国の留学生たちとHTICにて(右端)



学生がまちづくりの課題を提示

お知らせ

高校2年生 研修旅行 6月23日(木)～28日(火)

どのコースも思い出をたくさん作ってきてください!

- 北海道コース ○沖縄コース ○ハワイ 研修コース・ホームステイコース
- オーストラリア 研修コース・ホームステイコース

研修旅行期間中、中等部・高1・高3は4時限授業、臨時時間割になります。

第3回中等部体育祭

中等部 1・2・3年

6月28日(火)

スポーツ大会

高校 1年

6月25日(土)

高校 3年

6月27日(月)

さいたま総合グラウンド、雨天時本校アリーナにて ※運動靴・お弁当・飲み物を忘れないように!

行事予定

June 6月

July 7月

- 1日(水) 朝礼[夏服正制服着用]、生徒総会(7限目)
短縮授業 教育実習(～21日)
- 3日(金) 中等部1年校外活動(鎌倉)
- 7日(火) 剛健検診(高校1年、高校2年、中等部)
- 8日(水) 剛健検診(高校2年、高校3年)
- 9日(木) 東海大学進学説明会(高校2年、1限目)
- 10日(金) 漢字検定(希望者)
- 11日(土) 英語検定[中等部2・3年、高校(希望者)] 後援会学年懇談会
- 13日(月) 体育移動授業(中等部)
- 14日(火) 校医相談日
- 15日(水) 専門医によるカウンセリング
- 16日(木) 学年集会(高校2年)
- 18日(土) 1年保護者会②(高校、中等部)
- 23日(木) 高校2年研修旅行[オーストラリア・ハワイ・北海道・沖縄](～28日)
中等部、高校1・3年は、4時限授業(～29日)
- 25日(土) 高校1年スポーツ大会(総合グラウンド)
- 27日(月) 高校3年スポーツ大会(総合グラウンド)
中等部:火曜日の授業 高校1年:自宅学習日
- 28日(火) 第3回中等部体育祭(総合グラウンド)
- 29日(水) 高校2年振替休日

- 1日(金) 朝礼[夏服正制服着用]
短縮授業
- 2日(土) 中等部受験生・保護者対象学校説明見学会①
- 5日(火) 校医相談日
- 9日(土) 中等部水泳実習①(東海大学湘南校舎)
湘南校舎等付属推薦内定者説明会
高校受験生・保護者対象学校説明見学会①
- 10日(日) 高輪校舎付属推薦内定者説明会、英検2次
- 12日(火) 剛健旅行開会式(7時限)
- 13日(水) 第43回剛健旅行[群馬県嬬恋村](～14日)
- 15日(金) 剛健旅行閉会式
夏期休暇前諸注意・大掃除
- 18日(月) 海の日
- 19日(火) 希望者講習(～25日)
- 31日(日) 学園オリンピック文化部門
(東海大学嬬恋高原研修センター、～8/5)

校外活動(高校3年 バーベキュー)



編集後記

今年の夏、原発事故による電力不足が懸念されている。昨年比15%の節電が達成できれば、停電などの電力制限は避けられるという。本校でも、震災直後から、教育活動に支障を来さない範囲で徹底した節電を行っている。まもなく冷房が必要な季節となる。しかし思い起こせば、20年前まで本校には冷房設備はなかった。無くて済んでいた文明の利器が手放せなくなることを、果たして人類の進歩といえるかどうか…。科学技術の進むべき方向を考えるのは、SSH活動の「科学倫理」のテーマの1つだ。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>